

第三種郵便物承認 HSK通巻 4703 号 2018 年 2 月 15 日発行

HSK

会報「石川守る会」

NO. 82

石川県重症心身障害児（者）を守る会

全国重症心身障害児（者）を守る会

石川県支部 会長 山本 衛

新年 明けましておめでとうございます。

年明けから寒い日が続いておりますが、会員のみなさま・お子様
たちはお変わりございませんでしょうか。

昨年、金沢で開催された第 54 回全国大会は会員の方々をはじめ
多くの皆さんにご協力頂き、成功させることができました。

本当にありがとうございました。

全国大会を通じて障害の重い子ども達にとって「守る会」の果たす
役割の大切さを改めて感じました。

昨年末から厚生労働省では診療報酬、障害福祉サービス等報酬、
介護報酬などの改定作業が進められています。マイナス改定の意向
も見えますが何とかプラスの方向で予算編成して欲しいものです。

今年も子ども達の幸せな暮らしのために、協力しあって活動して
いきましょう！



保護者研修会開催される！！

昨年 10 月 29 日あいにくの悪天候の中医王病院地域医療研修室で保護者研修会が開かれました。

講師には長年入所や通園の子ども達と関わってこられた池島守先生をお招きして障害の重い人たちとの関わり方について話して頂きました。

先生はまずご自分がなぜこの道を選んだのかということから話されました。高校受験での挫折から色々な人との出会いがあって、障害の重い子ども達に出会われたとのことでした。でも、そこで子ども達の生きる姿に感動し、この子ども達とつきあっていきたいと思われた先生の感性が素晴らしかったです。

療育の目指すところ

- ・ どうしたら子どもさんを笑わせられるか。笑って生活できるか
- ・ どうしたら子どもさんとコミュニケーションがとれるか。

一人ひとりに応じた関わり

- ・ 発達の 2 大原則（身体の上から下へ 中心から端へ）
- ・ 発達の順序（運動 遊び 自己意識 他人への意識）
- ・ 個別性（見る、聴く、触る、揺れるなど 目、表情、発声、体の動）

手軽にできる療育・子どもが喜ぶこと

- ・ 音楽療法（音や音楽を聴いたり、楽器に触ってリラックスする）
- ・ わらべ歌あそび、ベビーマッサージで情緒の安定をはかる。
- ・ アロマセラピーでリラックス効果、自然治癒力の向上
- ・ 感覚刺激遊びで知的発達、情緒の安定をはかる。
- ・ 感覚運動遊びで運動機能の発達、知的発達、情緒の安定を促す。

関わるときに大切にしたいこと

- ・ 子どもの気持ちをくみ取る

子どもの表情、発声、目や体の動き、呼吸状態などを観察して意思を推測する。関わるときは必ずことばを添える。ゆったりと間をとって応答を待ってから関わる。

以上のお話は親としても思い当たることが多くとても参考になりました。忙しいとついついサッサとやっしまいがちになり気をつけたいことです。

第三種郵便物承認 HSK通巻 4703 号 2018 年 2 月 15 日発行

研修会に参加されたみなさんの感想を紹介します。

- ・先生が医王病院と関わるきっかけを話された時涙が止まりませんでした。心ある方に療育されること本当に頼もしく心強いです。親である私たちも日常に慣れず頑張ろうと思います。ありがとうございました。
- ・とてもわかりやすいお話しでした。今後の在宅支援事業について詳しく知りたいと思いました。
- ・とても勉強になりました。この仕事に関わる原点のお話もとても良かったです。子どもに関わる姿勢や思いが広まってほしいと思いました。
- ・身近で分かりやすくわがことのように楽しく聞かせていただきました。

保護者研修会



オルゴール セラピーのお誘い



白山麓のハーブの里ミントレイノで行われているオルゴールセラピーを体験しようと下記のように計画しました。

日 時 平成30年2月25日(日) 午後1時30分～
場 所 医王病院 中病棟3階地域医療研修室
講 師 オルゴールセラピスト 高田 悦子氏

オルゴールの響きに含まれる超高周波・超低周波が脳幹や視床下部の生命中枢を刺激することによって自己治癒力の機能が高まり様々な病気や症状を改善するというものです。また身体の隠れた不調まで効くという優れた効果があります。オルゴールを聴くだけというとてもシンプルな療法です。今回はハーブの里からオルゴールを持ってきてくださいます。みなさん澄んだオルゴールの音色を親子で聴き、心や身体の緊張をほぐしませんか!!!

多くの方の参加をお待ちしています。



第29回 東海・北陸ブロック大会に参加してきました。

昨年11月11日～12日に岐阜県羽島市で開催されたブロック大会に石川より3名が参加しました。

1日目は基調講演・シンポジウム・懇親会が2日目はみんなで語ろう・中央情勢報告・式典が行われました。

基調講演の講師は朝日大学 歯学博士の玄 景華先生でした。

第三種郵便物承認 HSK 通巻 4703 号 2018 年 2 月 15 日発行

テーマ 重症児者の口腔ケアと摂食・嚥下リハビリテーション

歯科医療の在り方から口腔ケアの目的や処置の仕方、また様々な状態の重症児者に合わせた対応の方法などわかりやすく話されました。

また摂食・嚥下障害の原因は多様でその対応も外から見えにくく、誤嚥・窒息危険もあるなど困難ことも多い。摂食・嚥下リハビリテーションについてもなかなか求められている効果が得られにくいこともあるとのことです。しかし「口はからだ全体の健康のバロメーターである」ととらえ口腔ケアに取り組んでいく必要があると話されました。

シンポジウムでは医療・福祉・リハビリ・行政等の担当者それに会員の代表からそれぞれ問題提起がされました。

中でも折居クリニック院長で福祉施設こばんだ所長もされている折居先生のお話が印象的でした。

医療的ケアのある重心児者を安心して預けられる施設の不足を少しでも改善しようと障害福祉施設こばんだを作られたそうです。

事業内容は・日帰り短期入所・日中一時支援・児童発達支援&放課後等ディサービスです。

さらに在宅の重症児者のニーズに応えるため H28 年 6 月から訪問系のサービスも始められ、居宅介護、重度訪問介護を開始されました。入浴介助とリハビリのニーズが高いが 居宅介護と重度訪問介護の報酬単価が安く訪問看護を増やしていく必要があるとのことです。

H29 年 5 月には医療型短期入所事業所を開設され、「安全に、安心して、楽しんで」をスローガンにして運営されているとのことでした。

小児科の先生が作られた施設ということで障害の重い人たちにとっては安心して利用できることと思います。



編集人	石川県重症心身障害児(者)を守る会
連絡先	929-0123 石川県能美市中町ツ 88-1 TEL0761-56-0610
	会長 山本 衛
発行人	北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 312 番地
定 価	30 円